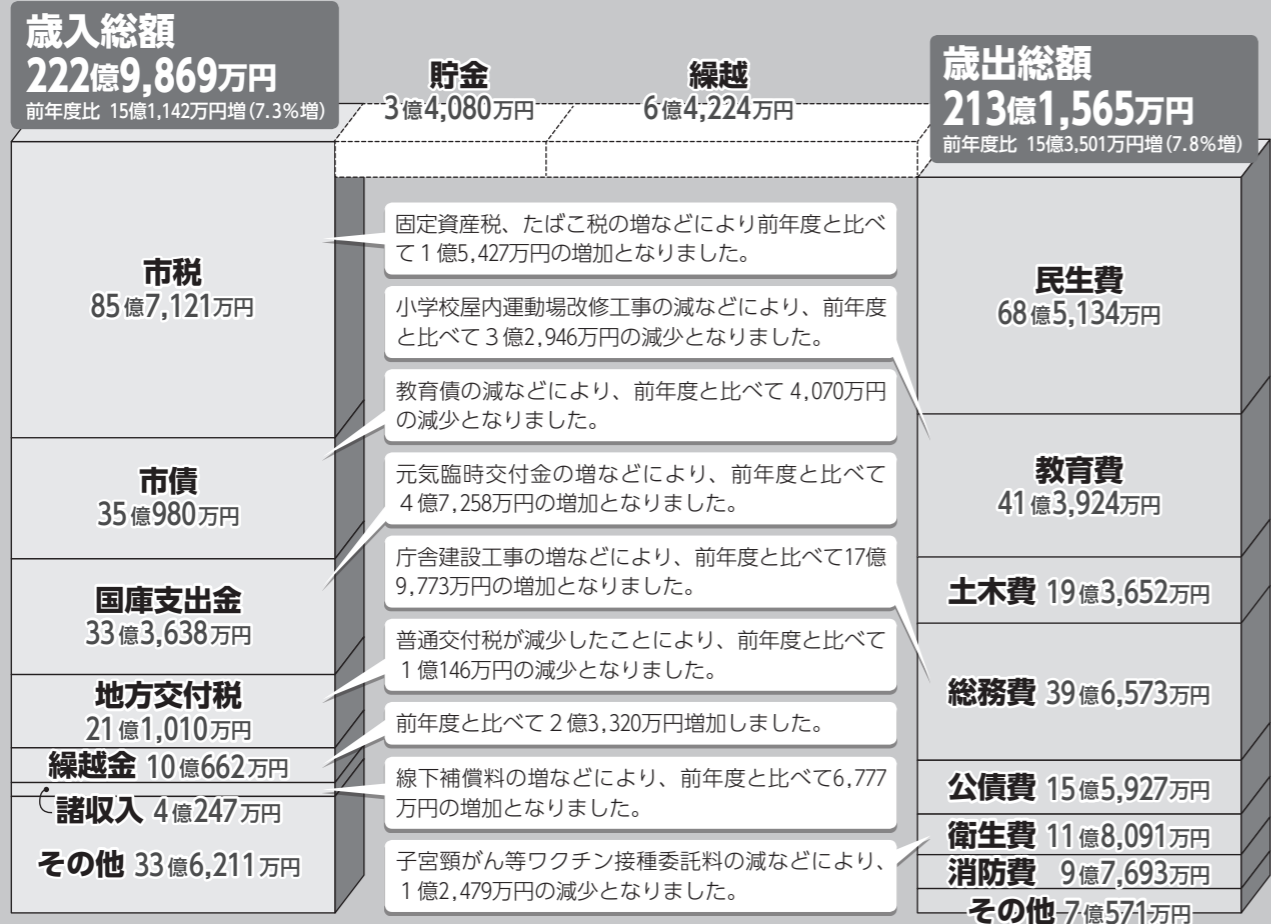


一般会計・特別会計 収支報告

一般会計

一般会計の総額は、歳入、歳出ともに増えました。主な要因として、歳入は地方税の収入増や、庁舎建設基金の繰入金の増であり、歳出は、総務費の庁舎建設工場の増があげられます。



歳入が歳出を上回っているね

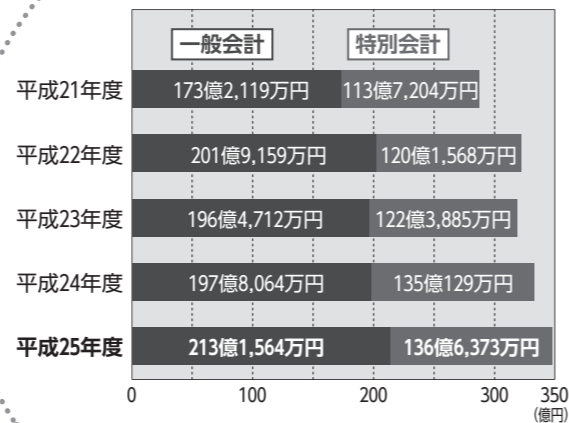


特別会計

特別会計は、特定の事業をより円滑に進めるために、一般会計と分離して収支経理を行うものです。

会計名	歳入	歳出
後期高齢者医療	6億2,984万円	6億847万円
久保特定土地区画整理事業	3億406万円	2億9,565万円
公共下水道事業	13億4,551万円	13億2,933万円
国民健康保険	84億2,504万円	80億4,737万円
介護保険	34億1,737万円	33億8,242万円
埼玉県央広域公平委員会	70万円	49万円

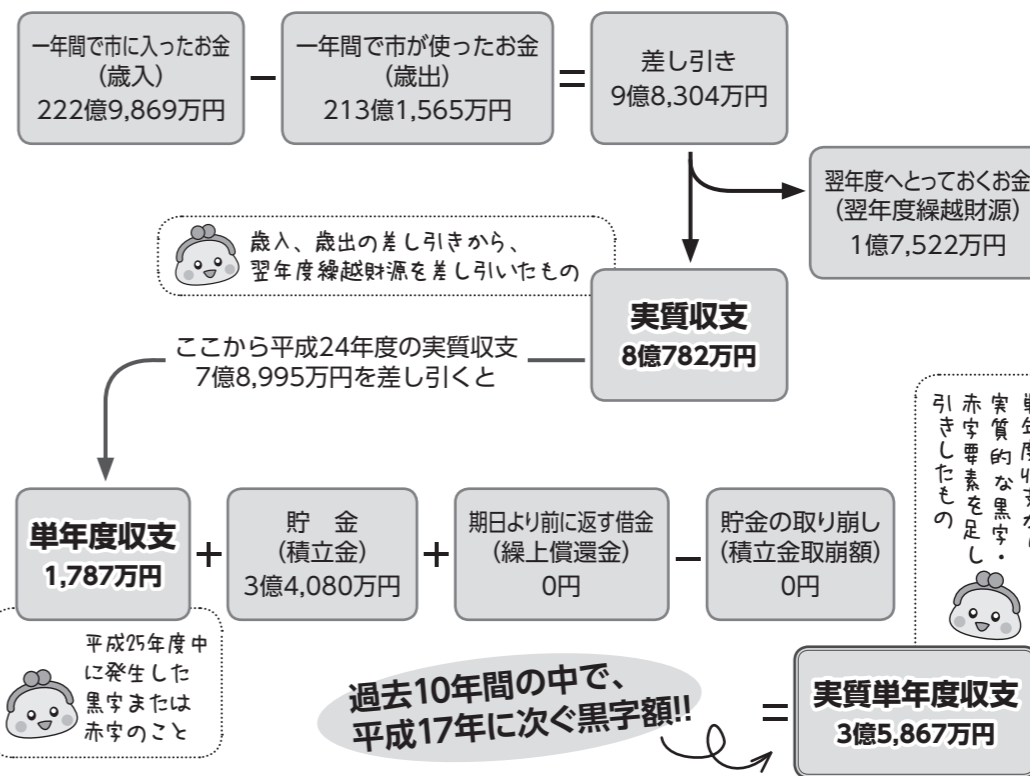
一般会計・特別会計の歳出決算額5年間の推移



市の決算は黒字? それとも赤字?

黒字です。

一般会計の決算額は、**実質収支が8億782万円の黒字、単年度収支が1,787万円の黒字、実質単年度収支が3億5,867万円の黒字**となっています。



市の財政は大丈夫?

すべての比率で健全です。

地方公共団体の財政状況を確認するための全国統一の指標である「健全化判断比率」という4つの財政指標があります。北本市では、すべての比率で、健全な水準を堅持しています。

健全化判断比率

指標	内容	結果	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	4.9%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	33.3%	400%

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります。

特集

平成25年度

北本市の決算

図財政課 財政担当 2594-5512

わたしが紹介します



産業



サマーフェスタ事業補助金…180万円

商工会と商店街等が地域貢献事業として実行委員会を組織し、まちの賑わいづくり、活性化に向けて実施したサマーフェスタ事業に対し補助金を交付し支援しました。

石戸宿地区農業農村整備事業…3,058万円

農業生産性の向上および遊休農地防止対策として石戸宿地区内の道路等未整備地区に道路を整備しました。

企業誘致奨励金…1億930万円

条例に基づき、指定企業からの申請により固定資産税相当額を施設設置奨励金として交付しました。また、新規雇用者に応じて雇用促進奨励金を交付しました。

都市・生活基盤



防犯灯LED化事業…3,050万円

市内の防犯灯500基を蛍光灯からLED灯に交換しました。

道路維持事業…2億2,302万円

生活道路の改善と交通安全を図るため、道路舗装等の整備工事を行いました。(前年度比約6,000万円の増)

ゾーン30事業…1,840万円

指定されたエリア内の制限速度を30キロとし、交通安全施設等の整備工事を行いました。

北本市防災行政無線親局操作卓更新事業…4,043万円

老朽化した操作卓を庁舎建設に併せて、Jアラート自動起動および自動電話応答等の機能を備えたものに更新しました。

保健・福祉・医療



児童館整備事業(児童館分)…4,443万円

児童館の整備工事を開始しました。

0歳児おむつ無料化事業…1,503万円

0歳児を養育する保護者へ市内登録店舗で紙おむつを受け取ることができるクーポン券を配布しました。

子ども・子育て支援事業計画策定事業…333万円

子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支援事業計画を策定するためのニーズ調査を実施しました。

未熟児養育医療給付事業…377万円

身体の発育が未熟な状態で生まれ、入院治療が必要な乳児の医療費(医療保険対象の自己負担部分)を、保護者負担額を除き、国1/2、県1/4、市1/4の割合で負担しました。

市民自治

自治会集会施設整備事業…800万円

自治会集会所の整備に対し、補助金を交付しました。(西2地区自治会集会所整備)

セーフコミュニティ推進事業…517万円

北本市セーフコミュニティ推進協議会および外傷サーベイランス委員会、対策委員会で活動を進め、認証のための事前審査を受けました。

その他の事業

一般旅券の申請受理、交付事業…185万円

県で行っていた旅券発行申請事務の権限移譲を受け、北本市で旅券発給事務を行いました。

ISO9001認証取得事業…471万円

市民満足度の向上を図るため、効率的で均一な窓口サービスを提供するための手法を導入しました。

住民参加型市場公募債発行事業…145万円

児童館建設に向けて、「きたもと児童館債」を発行しました。

減債基金積立事業…1億円

健全な財政運営を堅持するため、減債基金への積立を開始しました。

庁舎建設事業…16億5,011万円

人・環境にやさしく、災害に強い庁舎を目指して、新庁舎の建設を進めました。

環境・景観



石戸蒲ザクラ周辺整備事業…664万円

石戸蒲ザクラ保護および周辺整備基本計画に基づく計画予定地を測量し、基本設計を策定しました。

第3次北本市地球温暖化対策実行計画策定事業…139万円

第2次北本市地球温暖化対策実行計画の期間が平成25年度に終了することに伴い、社会、経済状況の変化等を踏まえ、第3次計画を策定しました。

公園環境整備事業…2,623万円

利用者の利便性を向上するため、北本水辺プラザ公園のトイレ設置等を実施しました。

生涯学習・教育



小中学校耐震・大規模改修事業…18億4,006万円

教育施設の整備を図るため、小学校の校舎や屋内運動場の耐震補強および大規模改修工事を行い、国の方針を2年前倒して、耐震化率を100%にしました。

中学校給食室整備事業…2億7,780万円

自校方式給食室を整備するため、中学校の給食室の整備工事を行いました。

学校4・3・2制研究モデル校非常勤講師配置事業…542万円

小学校5・6年生と中学校1年生までの3年間で、中学校教員と小学校教員が乗り入れ授業や小学校の学年内教科担任制をモデル校で実施しました。

児童館整備事業(こども図書館分)…2,188万円

こども図書館の整備工事を開始しました。

平成25年度に 実施した主な事業

積極的に事業実施に取り組んだ結果、多くの成果を上げることができましたので、その一部をご紹介します。



子育てと教育に
力を入れているのが
わかるね。

平成25年度は、子育て支援の充実を図るため、0歳児の保護者が市内登録店で紙おむつを受け取ることができるよう、0歳児おむつ無料化事業を行いました。また、児童館の建設を平成25年度・26年度の2か年事業として開始しました。そして、教育施設の充実を図るため、小・中学校において引き続き、校舎や屋内運動場の耐震補強および大規模改修事業に取り組みました。さらに、小・中学校教育の

充実を図るため、義務教育の9年間を見通し、大きな変化があらわれる小学校5年生から中学校1年生までの3年間において、中学校教員と小学校教員の乗り入れ授業や小学校の教科担任制を行う学校4・3・2制研究モデル校非常勤講師配置事業を実施しました。その他、柔軟な行政執行体制の整備と内部管理の充実のため、環境・人にやさしく、災害に強い新庁舎の建設に取り組みました。

借金残高は？

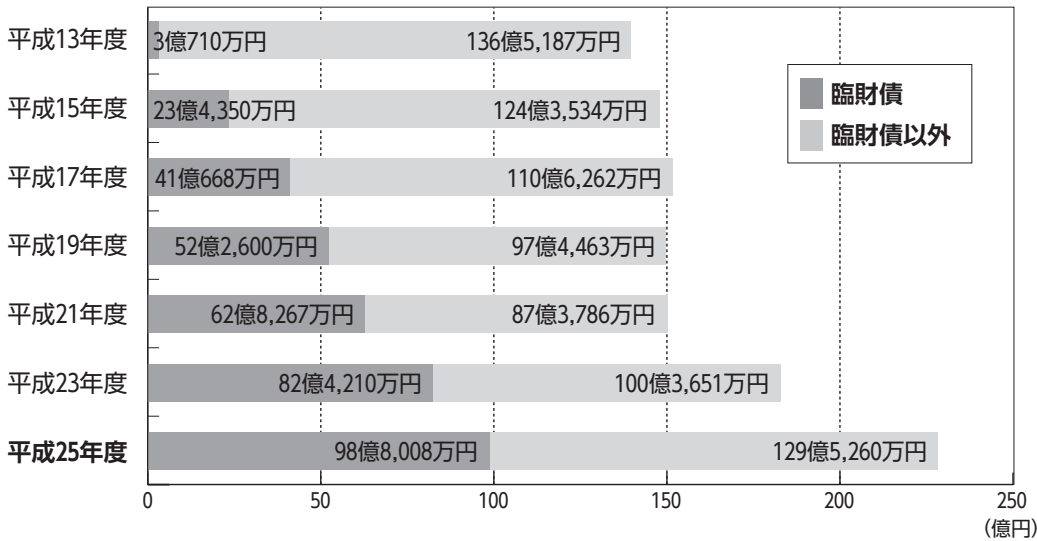
近年増加していることから、
将来の償還に備え積立を始めました。

平成25年度末における普通会計^{*1}の借金は約228億円です。このうち本来国が地方交付税として交付すべきものについて、いわば国の肩代わりをして借りている「臨時財政対策債^{*2}」が約99億円あり、これを除いた、市がコントロール可能な借金の残高は約130億円です。この額は、臨時財政対策債の発行が始まった平成13年度よりも少ないものですが、学校耐震・大規模改修や市役所新庁舎、児童館の建設等により増加傾向にあることから、将来の返済に備え、基金（減債基金）の積み立てを開始しました。（平成25年度に1億円、平成26年度に2.84億円積み立て、現時点の積立額は3.84億円です。）

※1 一般会計に久保特定土地区画整理事業特別会計を加えたもの。

※2 返済に要する経費は国が地方に交付するため、市の負担はありません。

■普通会計の市債残高の推移



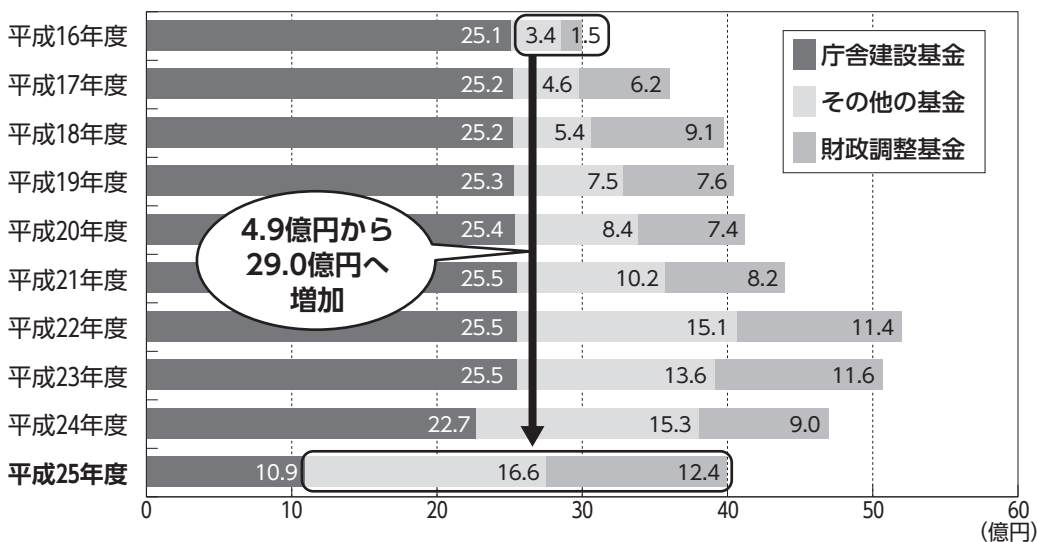
市の貯金は？

庁舎建設基金以外は着実に増えています。

平成25年度末の基金残高は総額で約39.9億円となっています。庁舎建設に伴い活用した庁舎建設基金を除いた残高は、平成16年度末には約4.9億円でしたが、平成25年度末には約29.0億円まで増えています。なかでも、財政調整基金^{*}は約1.5億円からバブル崩壊以降最大の約12.4億円まで増えています。

※年度によって生じる財源の不均衡を調整するために、財源に余裕がある年度に積み立てておくもの

■年度末基金残高の推移 (億円)



これからもしっかり
健全な街づくりを
していきます。



次号の特集は「選挙について」を予定しています。

北本市の財政状況

過去からの推移を見てみよう